

31H 岩本杏奈 31H 角田桃香 33H 高橋美咲 33H 高間千華
34H 圓谷淳成 35H 橋場勇心 36H 真鶴優輝

■課題

能登の商業施設の数少なく、人が集まらない

■解決策

- ・空き家や空き地に施設の誘致
- ・その地域限定のクーポン等の配布(例:一本杉通り)
- ・メディア等で積極的な情報の発信

■現状(1)より

～新たな商業施設・ミナクル&パトリアの設置～

- ・鉄道利用者の減少とマイカー利用者の増加
- ・映画館などの娯楽施設や、本屋、洋服、雑貨店などが少ない



七尾市駅前に人が集まらない【悪循環】

- ・閉店する店が増加し商店街の機能がますます低下
- ・テナントが入るが長続きしない→空きスペースの増加



(3)「パトリア」

■具体的内容

- ・七尾駅周辺に大型商業施設や託児所、マンション建設で、人口を集中
- ・能登地域で使えるクーポンを配布する
- ・SNSを使い様々な地域に能登の観光資源(温泉や祭り)、特産物や里山里海などの情報を若年層の人々に発信し知名度アップ
- ・道路整備による交通量増加

※野々市市は商業施設が豊富で生活必需品が揃っている
教育施設の誘致を行った 手厚い子育て支援制度
市内に大学があり若い世代が多い



(4)野々市市の産業成功例

■効果

<場所づくり>

- 空き地への誘致
 - ・施設を移転する場所を確保しやすくなる
 - ・空き巣が減る
- 大型商業、教育、育児施設の立地
 - ・市民の憩いの場になり子供を預けやすい
 - ・災害時の避難所にもなる

<施設・商業の活用>

・クーポンといった幅広い世代にとって使いやすい特典で 地域の活性化が可能になる

<宣伝>

・SNSなどでの観光資源の宣伝は場所が限られないので若年層を中心とした都会の人の目にもつき、多くの人が来る

■参考文献

- (1)「風土を大切にしまちづくり」 https://www.mlit.go.jp/crd/city/mint/htm_doc/pdf/067nanao.pdf (2023-3-20)
- (2) 交通手段 https://www.pref.ishikawa.jp/toshi/person2009/kanazawa%20ptH21.9.11/img/table04_1.jpg (2023-3-20)
- (3) 今の写真 <https://upload.wikimedia.org/wikipedia/commons/e/e1/Patria2022.jpg> (2023-3-20)
- (4) 統計で見る野々市 <https://www.city.nonoichi.lg.jp/soshiki/4/1672.html> (2023-3-20)